

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画については本人、家族、関係者の意向を伺いプラン作成している。プランの内容として課題解決的な視点となり、本人のやる気を引き出すような具体的な支援内容の表記が不十分。	介護計画のニーズの捉え方について課題解決型から目的志向型に視点をうつし、入居者本人のやる気を引き出すような具体的な支援内容を盛り込んだプランを作成する。	①センター方式シートを活用し、「暮らし方」の情報だけでなく「今の気持ち姿」に着目したアセスメントを実施する。 ②今の気持ちを捉え、やる気をもって生活していただけるようプラン目標を設定し、具体的な支援内容を盛り込んでいく。	12ヶ月
2	52	○居心地の良い共用空間づくり 共用空間生活環や季節感を採りいれて居心地良く過ごせるよう工夫しているが、ホーム全体の安全点検の実施が年2回程度(防災訓練時)となっている。	年2回の防災訓練実施時だけでなく定期的に安全点検を実施し安全な環境整備に努める。	①ホーム全体の安全点検について防火管理者と協議し、定期的(年4回程度)に自主点検できるようマニュアルの整備とチェック表を作成する。 ②職員にマニュアルとチェック表について説明し、平成28年度より実施する。	6ヶ月
3	10				ヶ月
4	45				ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。